

(様式第2号)

事業所名 グループホームふるさと伊万里

目標達成計画票(事業所記入)

作成日: 平成 30 年 12 月 10 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	現在、地区の区長や民生委員など運営推進委員として協力して頂いているが、毎年交代される為継続した協力体制が取りづらい状況である。また、災害時の備蓄が出来ていない現状であり、入居者の状態を考えると非常食や非常時に対応できる物品の常備が必要になってきている。	常に地区の一員として協力が得られるような関係づくりを築いていく。 非常食の備蓄については、他施設の取り組みを参考にしながら、備蓄の量や内容について会社全体で取り組んでいく。	ホームの広報誌により、行事や利用者の方、職員を知って頂くために、地域の掲示板を活用出来るよう地区(区長)に相談していく。 備蓄については、会社全体での取り組みが必要であり、経営会議で備蓄の内容、量的なところを検討し進めていく。	3~6ヶ月
2	21	ホーム行事やレクリエーションへの参加により利用者同士の交流は図れているが、高齢になられ自己中心的な言葉や動きが多くなり、表情陰しく会話が成り立たない場面が多くなった。	穏やかな日常の中に、活気と笑顔のある毎日を過ごして頂く。	利用者同士の会話には今まで以上に気を配る。場合によっては会話の途中であってもスタッフが間に入り、ソファの移動や場面の転換を図っていく。	1ヶ月
3	48	認知症の進行や身体機能の低下されている方に対して、多くの援助を行っている現状の中で、殆ど自立されている方に対して、関わりが手薄になり、生活の質が充分に保ててない状況が見受けられる。	利用者が求めている、援助を適切に把握し、計画・実行を進め、利用者の生活の質の向上を図る。	利用者の意向に応じた取り組みとして、毎月曜日を決めて、外出支援等を実行していく。それぞれ利用者のADLの程度に応じたレクリエーションを実施していく。	1ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注1)項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入してください。

注2)項目数が足りない場合は、行を追加してください。